

平成30年産主食用米等の地域農業再生協議会別「生産量の目安」算定方法について

平成29年12月22日
三重県農業再生協議会事務局

全 必要量「対前年比率」を用いた主食用米の「生産量の目安」の具体的な計算方法

○国が11月末に公表した主食用米の生産量（平成29年産は目標）

平成29年産 全国生産量（H29は目標）	7,350,000トン
平成30年産 全国生産量	7,350,000トン

生産数量目標の対前年比率は $735万t / 735万t = 100.00\%$

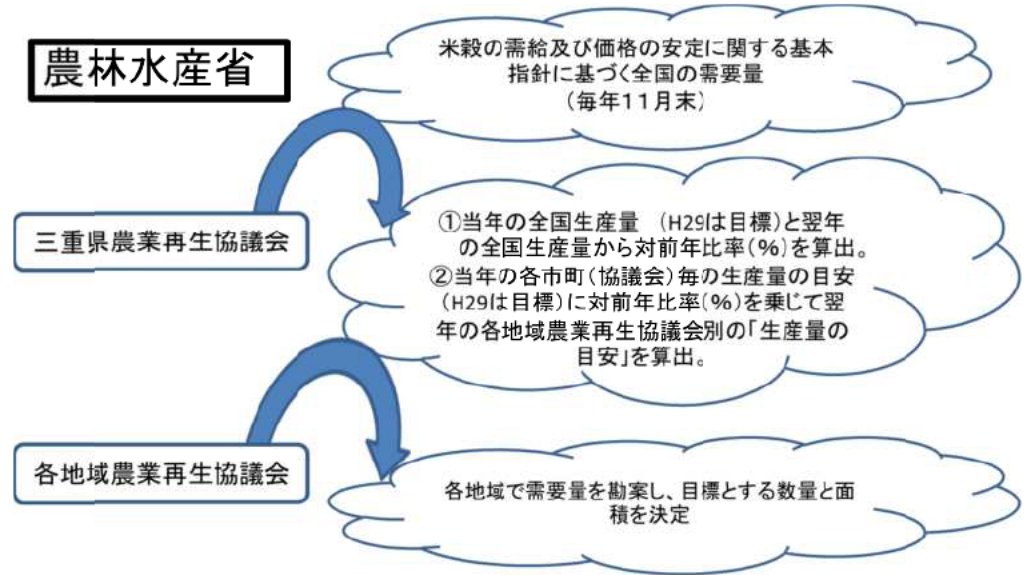
この数字%を「対前年比率」として利用する。

○ 29年度の三重県及び県内のシェアを固定
29年度産各市町別生産数量目標に「対前年比率」を乗じた数量を
平成30年度の市町農業再生協議会別「生産量の目安」として算定。
(具体例)

平成29年産米の生産数量目標が6,836tのA市の場合

$$6,836t \times 100.00\% = 6,836t$$

これがA市の平成30年産主食用米の「生産量の目安」となる。



■採種ほ場がある地域農業再生協議会での具体的な計算方法の例

平成30年産主食用米等の「生産量の目安」の場合

29年産米の市町別生産数量目標から種子用途を除いた「数量A=主食用途」に「対前年比率（Z%）」を乗じて、平成30年産主食用米等の「生産量の目安」のうち「主食用途の生産量の目安（A×Z%）」を算出します。

種子用途分については種子の採計別設食用途分（A×Z%）との合計を当該地域協議会における主食用米等の「生産量の目安」とします。

(具体例) (平成30年産 対前年比 Z=100.00%の場合)

平成29年産米の生産数量目標が6,100t（主食用途6,000t、種子用途100t）のB市の場合

平成30年産主食用途	$6,000t \times (Z=100.00\%) = 6,000t$
平成30年産種子用途	105t（平成30年産採種計画の中で別に設定）

合計6,105tが

B市の平成30年産主食用米等の「生産量の目安」となる。

